

HLTST による NEW YEAR PARTY のログ作成手順

起動した状態から、まず、Oprion の設定を行う。

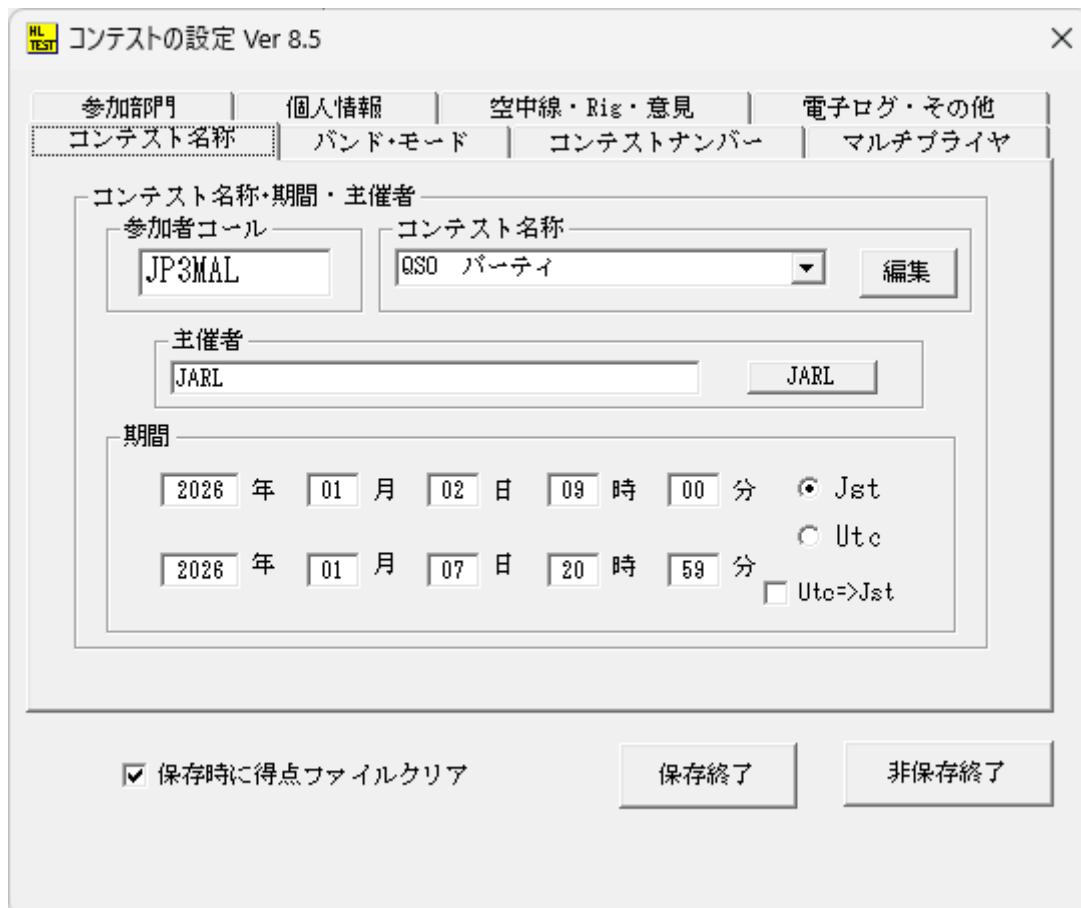
Hamlog.hdb のフォルダの設定、Hamlog.DBS のフォルダの設定を各自おこなってください。

次にコンテストの設定をクリック



## 1. コンテストの設定

### 1.1 コンテスト名称のタブを選び、次のように設定



1.2 バンド・モードのタブは、JARL に提出する内容すべてを選んで結構です。430SSB.NET では、自動的に 430のみを抽出します。

The screenshot shows the 'Contest Settings Ver 8.5' dialog box with the 'Band/Mode' tab selected. The 'Contest Name' is 'バンド・モード' and the 'Contest Number' is 'マルチブライヤ'. The 'Communication Mode/Frequency' section has the following checked options: 7, 14, 21, 28, 50, 144, 430, 1200, and 'HLC での無効交信を削除'. The 'Mode' section has CW, AM, FM, and SSB checked. The 'Score' section has '全交信一点' selected. At the bottom, 'Save and clear score file at save time' is checked, and there are buttons for 'Save finished' and 'Save not finished'.

1.3 コンテストナンバーのタブで受信コンテストナンバーの部分には、受信した相手方のオペレータ名を入力した HAMLOG の項目を設定してください。送信コンテストナンバーは、送信したレポートに加え、ご自分が送信したオペレータ名を固定文字列に設定してください。

The screenshot shows the 'Contest Settings Ver 8.5' dialog box with the 'Contest Number' tab selected. The 'Receiving Contest Number' section has 'MyRst(3) HisName(12)' in the input field and 'My RST 付加' checked. Below are checkboxes for Jcc/Jcg, G.L., HisName (checked with '12' in the field), Qth, Rmk1, and Rmk2. The 'Transmitting Contest Number' section has 'HisRst(3) カマダ(3)' in the input field. The 'Fixed String' section has 'カマダ' in the input field. At the bottom, 'Save and clear score file at save time' is checked, and there are buttons for 'Save finished' and 'Save not finished'.

1.4 電子ログ・その他のタブでは、JARL 形式電子ログにチェックを入れます。

コンテストの設定 Ver 8.5

コンテスト名称 | バンド・モード | コンテストナンバー | マルチプレイヤー  
参加部門 | 個人情報 | 空中線・Rig・意見 | 電子ログ・その他

その他

運用者のコールサイン  
JP3MAL

登録クラブ対抗  
登録クラブ番号

登録クラブ名

サマリーシート印刷時有効

JARL 形式 電子ログ

R 1.0  
 R 2.1

HL 形式 電子ログ

JARL 形式の選択

バンド別  
 時系列

保存時に得点ファイルクリア

保存終了

非保存終了

1.5 その他のタブの入力内容は各自でわかると思いますので、省略。

最後に右下の保存終了をクリック。

## 2. データの選択

HLTST Ver 8.5

Option 電子ログファイルを見る Help かんたん Help

HLTST Menu

コンテストの設定

データの整理と印刷

データを選択

サマリーシートの印刷

HLTSTWXL の実行

終了

C:\#HLSeries#HLTST

以下の状態になっていることを確認し、「実行する」をクリック

交信データの選択 Ver 8.5

交信データの選択

交信番号 日付 時刻 実行する

コールサイン 選択数 実行しない

下記編集機能を使用する  Qth 欄は Jcc 欄から変換して使用

Jcc/Jcg 都府県名等の編集

キーとなる地域  
全都道府県

北海道は  
 01 北海道  支庁に変換

キーとなる地域  
 都道府県に揃えます  
 市郡レベルに揃えます  
 町村レベルまで使用  
 変更しない  
 区は市に  県名は消す  
 東京の区は市扱い

キー以外の地域  
 都道府県に揃えます  
 市郡レベルに揃えます  
 町村レベルまで使用  
 変更しない  
 区は市に  県名は消す  
 東京の区は市扱い

10.1GHz 帯以上の場合 Rmk に使用バンドを印刷

以下のように対象となる QSO データを抽出し、最終交信が表示される。  
ここで思うとおりにになってなかったら、1 項の設定を見直してください。  
良ければ「メニューに戻る」をクリック

交信データの選択 Ver 8.5

交信データの選択

18056 2026/01/05 23:05 再読込する

JE9GQQ 34 メニューに戻る

Z:\Hamlog\_data\Hamlog.hdb

下記編集機能を使用する  Qth 欄は Jcc 欄から変換して使用

Jcc/Jcg 都府県名等の編集

キーとなる地域  
全都道府県

北海道は  
 01 北海道  支庁に変換

キーとなる地域  
 都道府県に揃えます  
 市郡レベルに揃えます  
 町村レベルまで使用  
 変更しない  
 区は市に  県名は消す  
 東京の区は市扱い

キー以外の地域  
 都道府県に揃えます  
 市郡レベルに揃えます  
 町村レベルまで使用  
 変更しない  
 区は市に  県名は消す  
 東京の区は市扱い

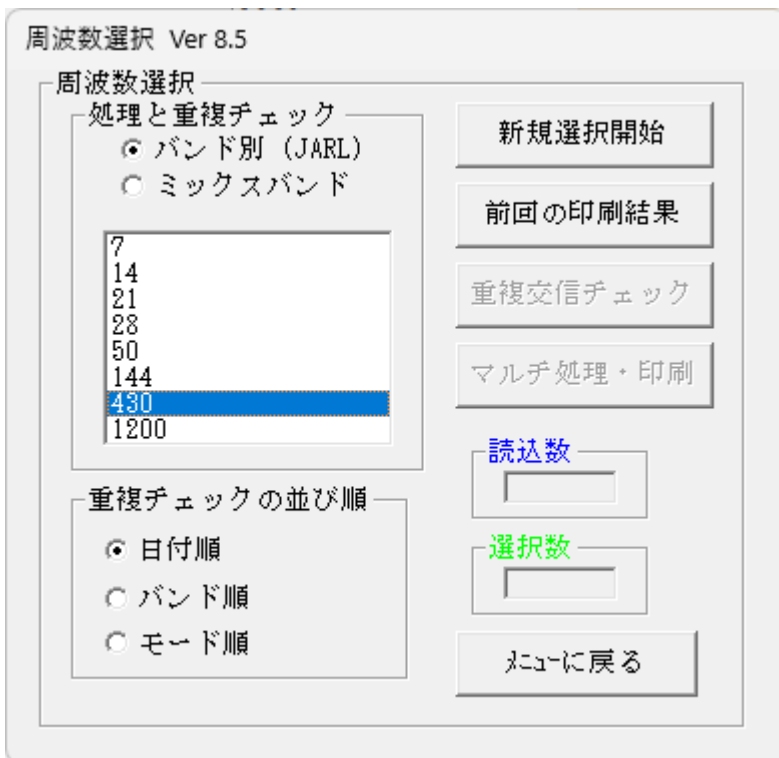
10.1GHz 帯以上の場合 Rmk に使用バンドを印刷

### 3. データの整理



3.1 バンド別のログを作成する場合は、「バンド別」のラジオボタンをクリック。

私の場合 430 しかやらなかったためか、ミックスバンドにすると先に進めなくなりました。バンド別を選択する方がよいと思います。



「新規選択開始」をクリックすると、読み込むことのできた交信数が表示される。

周波数選択 Ver 8.5

周波数選択

処理と重複チェック

- バンド別 (JARL)
- ミックスバンド

7  
14  
21  
28  
50  
144  
430  
1200

重複チェックの並び順

- 日付順
- バンド順
- モード順

新規選択開始

前回の印刷結果

重複交信チェック

マルチ処理・印刷

読込数  
34

選択数  
34

メニューに戻る

3.2 この後、「重複交信チェック」で重複がチェックされます。問題があれば、データを修正します。

重複交信チェック

重複交信

読込数  
34

削除数  
0

重複チェックリスト

- 全部印刷
- 重複局のみ印刷

1 Page

選択数  
34

重複局  
0/0

用紙のチェック

表示 印刷

選択画面に戻る

使用するプリンタ

Brother DCP-J957N Printer

プロパティ

問題なければ、「選択画面に戻る」をクリックし、「マルチ処理・印刷」をクリックします。

3.3 次のような画面が表示されます。

交信データの処理 Ver 8.5

	交信番号	Band	Mode	月日	時刻	交信局	送信	受信	
1	18023	430	SSB	2026/01/04	14:16	JH3QUL	59 カマダ	59 藏前	
2	18024	430	SSB	2026/01/04	14:23	JG3EIA/3	59 カマダ	59 もり	
3	18025	430	SSB	2026/01/04	14:41	JP3LVI/3	59 カマダ	59 田尻	
4	18026	430	SSB	2026/01/04	14:46	JE3ARO	59 カマダ	59 柏谷	
5	18027	430	SSB	2026/01/04	15:16	JH3XYP	59 カマダ	59 藪下	
6	18028	430	SSB	2026/01/04	15:20	JP3TXP	59 カマダ	59 上宮	
7	18029	430	SSB	2026/01/04	15:33	JP3CAO	59 カマダ	59 大下	
8	18030	430	SSB	2026/01/04	15:40	JA3LXY	59 カマダ	59 谷口	
9	18031	430	SSB	2026/01/04	15:46	JE3JRD	59 カマダ	59 淀谷	
10	18032	430	SSB	2026/01/04	15:50	JA3QMY	59 カマダ	59 五郎	
11	18033	430	SSB	2026/01/04	15:53	JL3HNL	59 カマダ	59 きせ	
12	18034	430	SSB	2026/01/04	16:00	JL3AYS	59 カマダ	59 新須	
13	18035	430	SSB	2026/01/04	16:04	JQ3FDH	59 カマダ	59 中村	
14	18036	430	SSB	2026/01/04	20:51	JF3UHG	57 カマダ	59 三田	
15	18037	430	SSB	2026/01/04	20:54	JE3IVP	59 カマダ	59 黒川	

文字列検索 Un Do マル整理 印刷 前のステップに戻る

ここで、「印刷」をクリックし、いったん印刷処理を行う必要があります。

印刷条件の設定

印刷用紙

- JARL 用紙
- 白紙 行間 4.8
- HAM 明朝を使用
- 紙ログは印刷しない
- Rmks に Mode 印刷

見出しと得点

- 見出しの印刷
- 小計の印刷
- 得点の印刷

無効交信

- 印刷しない
- 取消線付き印刷

用紙のチェック

- チェックをする

印刷位置

テスト印刷 位置調整 印刷開始 戻る

使用プリンタ

Adobe PDF プロパティ

通常のプリンタでの印字が良いのですが、私の場合は PDF ファイルにしました。

印刷を行わないと、ログシートが作成されません。

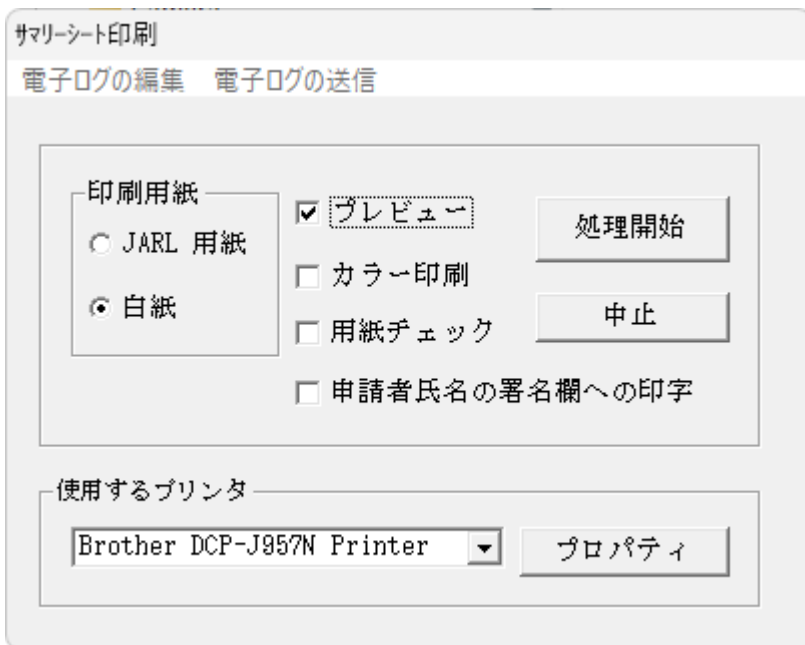
印刷処理終了後、3.4 の画面になるので「前のステップに戻る」をクリックし、3.1 の画面になるので、「メニューに戻る」をクリックします。

#### 4. サマリーシートの印刷をクリック



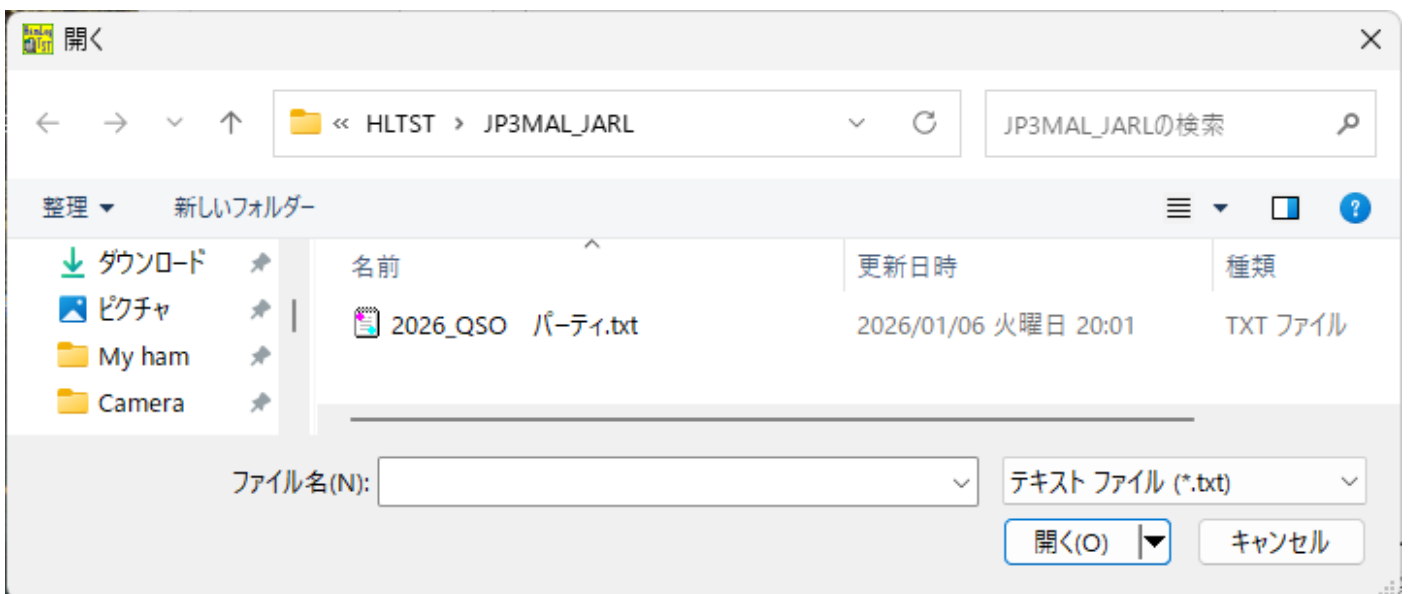
以下のような画面表示がでてくるので、「印刷」をクリック。





ここではプレビューにチェックを入れ、「処理開始」をクリックすると、HLTST をインストールしたフォルダの下の「コールサイン」\_JARL のフォルダに、電子ログファイルが作成されます。

ここでは実際の印刷は行わなくてもOKです。



以上お疲れさまでした。